



浜松市博物館情報



Hamamatsu City History Museum news

2021.8.15
No.345

この四年間を振り返る

前浜松市博物館協議会会長

(平成二十九年七月～令和三年六月在任)

小針 由紀隆

先日SNSを見ていたら、興味深い記事に出会いました。NHKの連続朝ドラの視聴率が二十%を切り、その数字回復にNHK側は苦慮しているというのです。昭和五十年代には「おしん」のような視聴率六十%余の怪物ドラマがありました。しかし昨今の朝ドラは二十%を超えるのが精一杯。この数字を下回ると、周囲から批判や苦言が相次ぐようです。近年の視聴方法はリアル視聴だけでなく、タイムシフト視聴も頻度を増していることで、リアル視聴の習慣が薄らいでいることは確かでしょう。さまざまな社会の変化の中で、テレビの視聴率も左右されているというわけです。

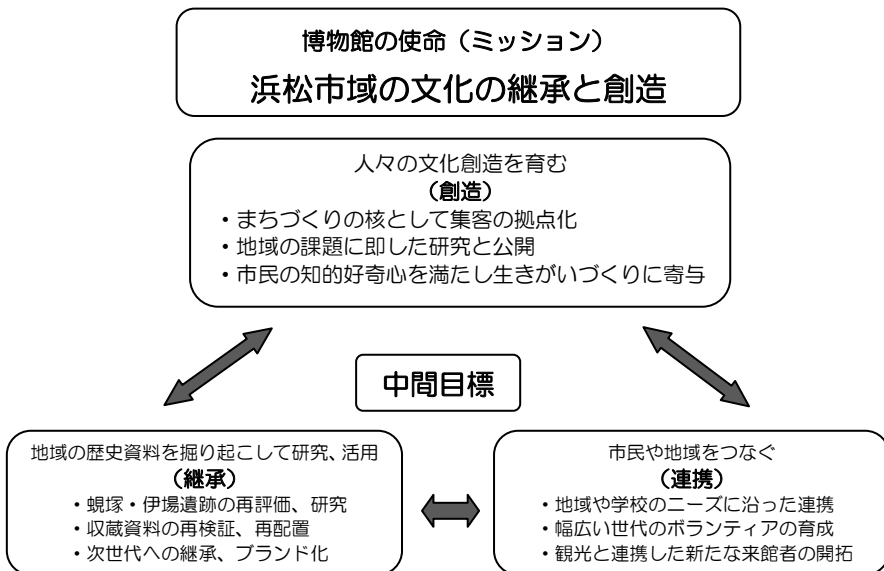
ノルマ化された数字というのは、実に厄介なものです。社会全体を見渡しても、数字の重任に苦しむ人たちの数は測り知れません。博物館も例外ではありません。かつて私が勤務していた静岡県立美術館では、ある時期まで「年間の展覧会観覧者数二十万人」が目標値となっていました。展覧会観覧者数が目標値を超えれば、美術館として評価され、超え

なければ評価されない。これはとてもおかしな話です。美術館の活動には、教育普及、収蔵品の保存・管理、研究成果の公開、施設の修繕等、数字に反映されないものが幾つもあるからです。そして個々の活動の質と成果に、館は責任を負わねばなりません。

そもそも美術館は、いったい何のために創設されたのだろうか。このような疑問を突き詰めていくと、美術館の使命は何なのかという問いに到達します。美術館の真の評価はどのようにされるべきか。静岡県立美術館が、事業評価システムを全国に先駆けて構築したのは、こうした理由からでした。

博物館が使命を明確にし、その使命を果たすために、どのような重点目標と具体的な手段を指標として掲げるか。浜松市博物館には、使命と指標をまとめ上げた事業評価システムが存在していませんでした。私が当館協議会の会長に選任されたのも、このシステム構築に携わった経験があったからでした。現在使命として明文化されているのは、「浜松市域の文化の創造と継承」というものです。

誰もが簡単に記憶できる簡潔なフレーズで、博物館の職員、協議会の委員、市の文化財課の方々による度重なる議論の成果であるように思われます。
人事異動で人が変わっても、予算が少々削減されても、大きくぶれることのない健全な博物館運営が望まれます。「浜松市域の文化の創造と継承」を目指す博物館が、創意ある活動を通して進化していくことを期待しています。



【博物館所蔵資料の紹介】

どうたく 銅鐸破片 (東区天龍川町 まつひがし 松東遺跡出土)



弥生時代後期（1世紀頃）の銅鐸の鈕（吊り手部分）の破片です。2012年に行われたJR天竜川駅北口の整備事業に伴う発掘調査で出土しました。

大きさは、残存部の幅25.2cm、高さ17.8cm、重さは約1.2kgで、飾耳の部分などは折り取られ、全体的に大きく歪められています。

この銅鐸破片は弥生時代後期の集落の内部から出土していますが、完形品の銅鐸が、集落から離れた場所から、穴の中に寝かせた状態で出土することが多いのとは対照的で注目されます。

弥生時代後期の銅鐸には、近畿地方に多い「近畿式」と三河～遠江に多い「三遠式」の2つのタイプがありますが、全国で40例程度発見されている銅鐸破片は、本例を含めてほぼ全てが近畿式です。

破片が近畿式に限られる理由は明らかではありませんが、銅鐸を用いた祭祀が行われなくなると、近畿地方を中心に銅鐸が破碎される場合があり、銅自体が貴重なものであったため、破片が各地に流通したという可能性が考えられます。

弥生時代末における銅鐸祭祀の終わりを示す重要な資料です。現在常設展にて展示中ですので、ぜひご覧ください。

催し物のご案内

★テーマ展

「縄文グルメ ー縄文人は何を食べたかー」

7月31日（土）～ 9月5日（日）

近年、縄文土器や土偶で注目を集める縄文時代ですが、縄文人がどのような食生活を送っていたか気になりませんか。発掘調査や理化学分析から判明した縄文人の意外な食糧事情を紹介します。

★小展示「昭和のオリンピック -1964-」

7月15日（木）～ 9月5日（日）

★夏休み体験館

7月31日（土）～ 8月22日（日）

*縄文マグネットづくり

自然乾燥するねんどで土器や土偶の形をつくったり、縄や貝がらなどで模様をつけてオリジナルマグネットをつくろう！

*缶バッジづくり

*クイズラリー

*展示ガイドツアー

*オリジナルまが玉づくり

新色「紫」が登場！



●県民の日特別体験メニュー

8月21日（土）

綿くり・糸車体験

化石発掘体験



※ 各イベントの内容、定員、参加費などの詳細は、ホームページ、SNSでご確認ください。

※ イベントは、変更・中止になる場合があります。

左から
ホームページ
ツイッター
インスタグラム



新型コロナウイルス感染予防対策として、ご来館の皆様には以下のことをお願いしています。

- ・マスクの着用
- ・館内での会話は控えめに
- ・同行者以外との距離をあける

※体調がすぐれない場合は来館をご遠慮ください。

浜松市博物館

開館時間 9:00～17:00

〒432-8018 静岡県浜松市中区蛸塚四丁目22番1号

Eメール: hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

8・9月の休館日 8/23、30、9/6～27

TEL 053-456-2208 FAX 053-456-2275

HP: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/>